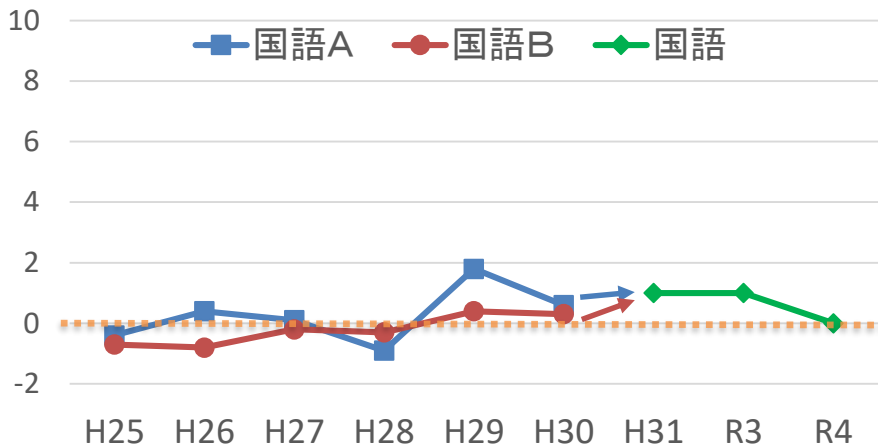


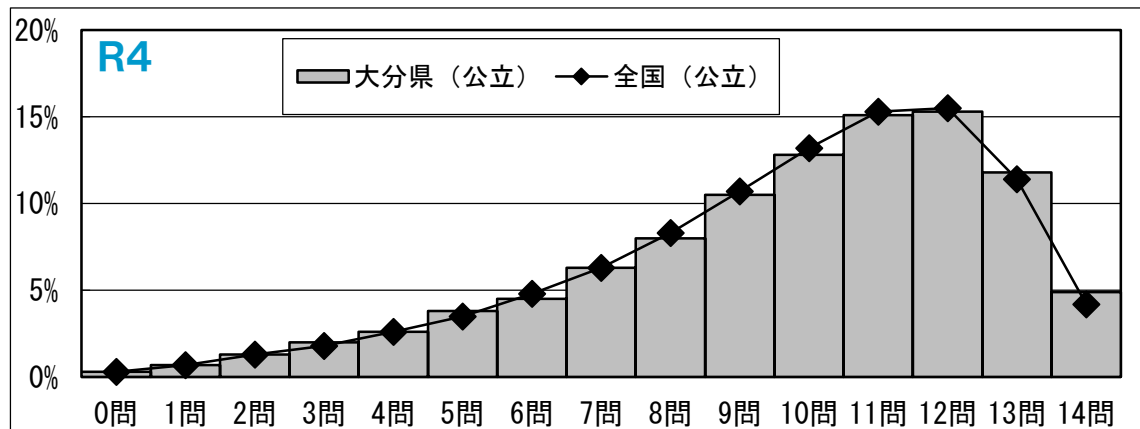
## 結果のポイント

### 1 全国平均との差の経年変化



○全国平均並みである。

### 4 正答数度数分布



## 2 領域別の結果

学習指導要領の内容	県	全国平均
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	72.5	72.2
(2) 情報の扱い方に関する事項	47.9	46.5
(3) 我が国の言語文化に関する事項	70.6	70.2
A 話すこと・聞くこと	63.7	63.9
B 書くこと	47.9	46.5
C 読むこと	67.5	67.9

○「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を上回る。  
 ▲「話すこと・聞くこと」「読むこと」で、全国平均を下回る。

## 3 観点別の結果

観 点	県	全国平均
知識・技能	69.5	69.0
思考・判断・表現	62.3	62.3

○「知識・技能」の観点は全国平均を上回る。  
 ▲「思考・判断・表現」の観点は全国平均並み。

○低学力層の児童の割合(正答率20%以下)は全国平均並み。  
 ○正答数が全国平均以上(9問以上)の生徒は70.4%であり、全国値70.3%を上回る。

## 課題が見られた問題と指導の改善

### 正答率が低かった問題

大問1 設問3 【平均正答率 大分県51.4% 全国 51.8%】  
【無解答率 大分県16.1%】

自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる問題。

川口 なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

田中 川口さんが伝えたい内容、スピーチの冒頭から同じ調子で言葉の抑揚や強弱、間の取り方してみてはどうでしょうか。インで離れた場所にいる人と会話する部分は、伝えたい内容に関係が薄いので、聞き手に関心をもってもらえないかもしれません。大きな声で話すことと、ゆっくり大きな声で話すことと、聞き手に関心をもってもらえないかもしれません。

川口さんは、最近気になったことについてスピーチをする学習に取り組んでいる。動画に自分のスピーチを記録し、それを田中さんに見せて助言をもらっている。

田中さんの助言を受け、川口さんは「ほかの部分も話し方を工夫する」ことにした。自分ならどの部分をどのように工夫して話すか考え、条件に従って書く。

<条件>  
(1) スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。  
(2) (1)のように話す意図を書くこと。



## 調査結果から見える生徒の実態

無解答率が高いことや反応率が高かった具体例から、以下に示すような実態が考えられる。

- ▲話し方を工夫する意図を明確にすることに課題がある。
- ▲具体的な話し方の工夫について考えることに課題がある。
- ▲工夫して話す部分を具体的に取り上げることに課題がある。

## 指導の改善

### 【学習指導のポイント】

自分の考えが分かりやすく伝わるように話すためには、聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意したりするなどして、表現を工夫することが大切である。また、指導に当たっては、実際に声に出しながら工夫を考えたり効果を確認めたりすることが重要である。

### 〔指導例〕(全3時間)

学習の流れ	
1	① 学習の見通しをもつ。 ② スピーチの内容を考える。 ③ 各自で実際にスピーチを行い、その様子を動画に記録する。
2	④ 教師が提示したスピーチの内容を基に、表現の工夫について考える。 ⑤ 考えた工夫とその意図を伝え合い、実際に声に出して示しながら交流する。 ⑥ ③で録画したスピーチを見ながら、表現の工夫を考える。
3	⑦ グループで聞き会い、表現の工夫によって自分の考えが分かりやすく伝わったかを確認する。 ⑧ 学習を振り返る。